

# 光市医師会報

平成3年4月号

No. 222



水鳥の橋

光市医師会

〈会員寄稿〉

## 鶏 談 義

藤 村 朴



毎年5月3日、大田病院に於て鶏の展示会を行います(本年は諸事情により中止) 展示会には山口県は勿論、島根県や四国、九州からの出展もあります。

さて、展示会ですが、昭和57年が始まりです。出品点数は当初60位、現在は100点以上の大盛況です。鶏の展示会というと皆一様に「初めて聞きました。焼鳥ですか、卵ですか」と聞かれます。「いや天然記念物だよ」というと、又「尾長鶏ですか」と言う。それには「まあ尾長もありますね。それと天然記念物は20種位ありますね」「鶏だって観賞用もあるんだなあ、まあ植物でいえば盆栽の様なものだわな」という具合。

10年以上前になる。私宅の裏でスーパーが開店した。その際、そのスーパーで品物を買うとヒヨコがもらえるという。子供達が行ったり来たりして何羽かのヒヨコをも

らってきた。これが全部雄ノあれやこれやで結局2羽残った。名前は「クンタ」と「キンテ」。ところが、このヒヨコも長ずるに及んで子供に蹴りかかる仕末。何でもこの手の鶏はプロイラーだそうなの、特に「キンテ」は激しいので、これは病院で飼うことにしたが、鶏好きのAさんもほとほと手を焼いたらしい。さて、瑞穂糧穀で白レグの雌2羽を買って来て「クンタ」と一緒に庭で放し飼いしたが、何とこの2羽が卵を毎日2個ずつ生む為、我が家ではとても食べ切れない位でした。この2羽の名前「カッカ」と「ラッカ」。

この頃から矮鶏が飼いたくなり方々を訪ねて歩きました。外来の人にあれこれ聞いたりして、もらったチャボの卵を養鶏場に頼んで孵化したりしました。時には一家して、浅江の奥の方に矮鶏を訪ねて歩いたも



のです。ある時一家で浅江協和の方を歩いていると、矮鶏を多数飼っている家の前を通りかかりました。「あの雛をもらう様頼んでみよう」ということになり、そこのご主人に事情を申した所、そこご主人は快く「あげます」と言って一番雛を選んで下さいました。家族して大喜びで持ち帰り、段ボールに入れて茶の間で育てました。特に気に入ったのは、この雄雛が手で抱えると「ピコピコピコ」としきりに喋る事で、庭にいてもすぐ他の鶏の所に行き合流します。名前は「ゴン太」雌の方は「チョ」と言います。成長するに至って仲々綺麗になり、性格も人懐こく「ゴンちゃん」と呼んだら遠くから走り寄って来るんです。ついでにいろんな鳥類を庭で放し飼いたくて、錦鶏の卵も矮鶏によって孵化させてみましたが、どうも野性の物は結局母鶏にも慣れず育てるのも大変で、成長した所で結局他家に差し上げました。

当時には富恵先生の御心配で、シェットランドコリーの「ボギー」コラットまがいの猫「ミミ」(全身浅黄色)等、我が家の庭は“犬”“猫”“鶏”“家鴨”“孔雀”と一大ファミリーで大盛況、遂にはK R Yから私宅にテレビ取材に来て、ナマナマ55分に紹介された事もありました。

ところで、本格的に鶏を飼おうとしたのが昭和54年で、当時「鶏の研究」という雑誌がありました。鶏の事を書いた専門書を本屋で探しても今日に至るまで先ず有りません。そのうち「鶏の研究」の同社から「趣味の鶏」という月刊誌が出る様になり、その中の広告で「日本愛玩鶏協会」が会員募集中、これでこの会に入会致しました。

この会は会員相互の親睦を目的とし、入会した年に群馬県館林市で親睦会があったのに出席しました。その会で当地の方は勿論、新潟、宮城、愛知県の方々とも知り合い、親交が始まって今日に至っています。当初は群馬県から「桂チャボ」を送ってもらい、その可憐さに目を見張りました。さすが本物のチャボは違う。脚は短く、腹を地にこすらんばかり、胸の張り、尾は天に直立しております。

神奈川県伊勢原市に横尾さんというチャボの名人がおられます。早速この方をお願いして“桂チャボ”を送っていただきました。3回目に譲っていただいた鶏は余りに立派なので、写真に撮ってテレホンカードを作成しました。現在もいますが、“福助”と名づけて大事に飼っています。それやこれやで現在展示用の鶏は“小国”(遣唐使が持ち帰った鶏)及び“糸毛チャボ”(兎の様な羽毛の鶏)“桂チャボ”(写真の鶏)等々であります。最近、桂チャボの体型で色の綺麗な“周南チャボ”(これはチャボの内種として面白半分についた)等で、これは我が家の庭で放し飼いで飼っています。

放し飼いの鶏で仲々人懐こくて、主人を見ればかけ寄って来たり、それぞれ個性があって、雌鶏も子育ての上手なのがいますよ。



## 3 月度月間行事・会議等

日	曜	行事・会議	場所	出席者
12	火	定例理事会	光市医師会館	8名
14	木	三師会通常総会・講演会	武田厚生会館	13名(光市医師会)
14	木	結核診査会	徳山環境保健所	福本
16~20	土~木	国保審査会	山口市	富恵
22	金	心電図研究会	光市立病院	6名(光市医師会)
28	木	郡市医生涯教育担当理事協議会	県医師会館	赤崎
28	木	食事付月例会	敦煌(徳山市)	28名

### 定例理事会

3月12日(火) 午後7時30分~

光市医師会館(光商工会議所)

(出席者) 福本・富恵・丸岩・近藤  
前田・藤原・赤崎・吉村

#### 議 題

- 1) 郡市会長会議、医師国保等報告 (富恵)
- 2) 光三師会定時総会の件 (福本)  
来年度の三師会の役員の人選  
福本・竹中・渡辺・藤原
- 3) 3月度食事付月例会の件 (福本)  
3月28日 於 敦煌  
月例会 6時45分~ 食事会 7時~
- 4) スポーツ安全会診断書の件 (福本)  
今迄も特に問題になる事例もなく、今回

も受託する。

- 5) 平成2年度事業報告、決算報告 (福本)
- 6) 平成3年度事業計画、予算案(福本)  
定時総会を5月23日4時から、懇親会を同6時より開催する。  
4月9日迄に事業計画を各担当理事が提出する。理事の業務担当は平成2年度のままで変更しない。
- 7) その他
  - ① 4月の研修会の件
  - ② 教職員健診の健診料支払いの件
  - ③ 保健センター依頼の講演者、検診者の人選—大腸ガンについて、アレルギーについて、健康教育、乳ガン検診等



## 心電図研究会 (第33回)

光市・下松医師会合同

3月22日(金)午後7時30分～

於 光市立病院

演題 「心電図の読み方」

講師 徳山中央病院 河野隆任先生

症例

①55才、♂、(主訴)胸痛?、急にぐったりなる?、(EKG変化) I・V<sub>1</sub>のST上昇、II・III・V<sub>F</sub>のST低下、V<sub>2</sub>～V<sub>6</sub>の幅が狭くてとがったT、(診断)心筋梗塞—左冠動脈前下行枝の大きな部分、(血圧が下る心筋梗塞は主幹部)

②87才、♀、(主訴)めまい、意識障害、(EKG変化) V<sub>1</sub>のR波が高い、V<sub>6</sub>にS波、I・V<sub>1</sub>にQ波等、(診断)左回旋枝の梗塞

(高令者で徐脈になった時の心筋梗塞は下壁の梗塞)

## 月例会 (食事付)

3月28日 午後6時30分～

於 敦煌(徳山)

(連絡事項)

- イ) 社保3月分の提出日の変更について
- ロ) 麻酔科標榜の医療機関の書類提出の件
- ハ) 徳山曹達の保険証更新の連絡
- 二) 平成3年度の県医師会費賦課方法変更について
- ホ) 市教育委員会より依頼の光市スポーツ安全会の診断書について
- ヘ) 研修手帳配布(1991年度)
- ト) 三種混合ワクチン接種は4才迄

4才～6才で希望者は2種混合ワクチンを接種

チ) 国保人間ドックの受託医療機関について

リ) 大腸ガン検診の受託医療機関があれば申し出る。

ヌ) 小中学生・教職員の心電図、血液検査を6月6日～12日の間に予防協会がおこなう。各学校医は5月末に健診をして欲しい。



## 光三師会講演会・通常総会

3月14日(木) 午後5時～

於 武田厚生会館

- 1) 通常総会  
会則の改正、会計報告、役員改選
- 2) 講演「光市の歴史的事項に関して」  
光地方史研究会長 中道静夫先生
- 3) 懇親会

(光三師会新役員)

- 会 長 守田忠正(歯)
- 副会長 福本寿雄(医) 富原喜一郎(薬)
- 理 事 竹中昭二・藤原邦彦(医)
- 佃 幹夫(歯)
- 大戸富美子(薬)
- 監 事 渡辺貞雄(医) 藤本竹則(歯)
- 松本則一(薬)

※役員の任期2年(平成3年4月1日より平成5年3月31日迄)

<新任光市医師会事務局>

ごあいさつ

廣 光 辰 昭



光医歯会ゴルフコンペ

3月24日(日) 於 周南CC  
成 績 表

	アウト	イン	グロス	HD	ネット	順位
森本	38	44	82	7	75	優勝
光武	42	44	86	9	77	2位
守田	46	42	88	10	78	3位
国本	48	55	103	25	78	4位
諏訪	46	45	91	12	79	5位
鳥枝	48	52	100	20	80	6位
横山	45	43	88	6	82	7位
前田	49	52	101	17	84	8位
松村	55	58	113	28	85	9位
竹中	53	54	107	19	88	10位
平田	52	46	98	8	90	11位

此の度ご縁がありまして事務局で働く事になりました。今月の20日で満62才になります。私は旧満洲国鞍山市の中学校(旧制)を昭和20年に卒業、日露戦争で有名な旅順市の工科大学予科に入学しましたが、終戦で学校が閉鎖になりました。

昭和21年に両親兄妹と日本に引揚げてきたものです。同級生の多くは進学したのですが私は船員をしたり、炭鉱で働いたり、人夫仕事と気まぐれな青春を迎えました。

昭和38年に光市水道局に採用となり何とか規則的な生活に戻り、平成元年に26年間の退職を致しました。趣味として囲碁(3段)ですが定年になってからは殆んど石を持っておりません。子供は娘2人長女(26才)は東京のアパートでOL暮らし、次女(25才)は結婚して福岡県に住んでいます。孫はまだ居りません。

今迄に経験の無い職場の仕事をする事になりましたが、頑張ってゆきたいと思いますので、どうぞ宜しくご指導をお願い致します。



平成3年度4月～9月 休日診療当直表

月	4月					5月					6月					7月				8月				9月					10月								
日	7	14	21	28	29	3	4	5	6	12	19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	27			
内科系	香浦	福本	田村	高橋	河村	佃	守友	中村(琢)	広田	市川	田中	河内山(清)	丸岩	吉村	大城	高橋	福本	市川	守友	河村	佃	中村(琢)	広田	香浦	田中	田村	大城	吉村	丸岩	福本	高橋	守友	市川	佃	河村	中村(琢)	
外科系	金	渡辺	中村(国)	河内山(正)	道上	藤村	竹中	梅田	兼清	光武	富恵	前田	近藤	藤原	松村	金	道上	河内山(正)	渡辺	梅田	中村(国)	藤村	近藤	富恵	竹中	藤原	道上	前田	松村	金	光武	兼清	梅田	河内山(正)	渡辺	近藤	藤村

月	11月					12月					1月					2月				3月													
日	3	4	10	17	23	24	1	8	15	22	23	29	30	31	1	2	3	5	12	15	19	26	2	9	11	16	23	1	8	15	20	22	29
内科系	香浦	河内山(清)	広田	吉村	田中	田村	中村(琢)	丸岩	佃	市川	高橋	福本	大城	河村	吉村	田村	守友	香浦	広田	丸岩	河内山(清)	田中	市川	高橋	中村	大城	福本	田村	吉村	広田	河内山(正)	富恵	藤原
外科系	中村(国)	富恵	竹中	梅田	藤原	光武	藤村	前田	兼清	渡辺	近藤	道上	河内山(正)	松村	金	中村(国)	竹中	藤原	富恵	光武	梅田	前田	藤村	兼清	近藤	道上	金	河内山(正)	富恵	藤原	松村	光武	

編集後記

今年は桜の開花の時期に雨が多く、いつの間にか花が散ってしまったといった感じがします。近所の神社の境内では毎年酒宴の場所の陣取り合戦がおこなわれ、夜は大変にぎやかですが、6・7分咲きの頃の土曜・日曜が雨、満開の時もまた雨で比較的静かな境内でした。雨よけのためか、花冷えをしのぐためでしょうか、花の下に TENT を張って酒宴をしている風景を目にしましたが、サカツキに花びらが舞う風情が花見酒に一番にさわしいのにと余計な事を思いながら通り過ぎてゆきました。

今月は藤村先生と事務局の廣光さんに原稿をお願い致しました。有難うございました。藤村先生には原稿の中に出てくるテレホンカードまでいただきましたが、「原稿の題を適当につけておいて下さい」と言われ、テレホンカードのお礼がわりに、言われるまま適当に題をつけておきました。

新しくなった「ちとせ大橋」の欄干の鳥の絵を表紙に使ってみました。車で通過すると案外気が付きませんが、橋の歩道を歩いてみますと結構大きなものでした。道路の真中から撮るともう少し良い写真になったのでしようが、なにせ交通量が多いので、

(吉村)

<会員寄稿>

光市医師会報 第100号 昭和62年10月

氏名	住所	職業	所属	備考
山本 隆夫	光市 光井一丁目	医師	光市医師会	
田中 健一	光市 光井二丁目	医師	光市医師会	
佐藤 三郎	光市 光井三丁目	医師	光市医師会	
鈴木 一郎	光市 光井四丁目	医師	光市医師会	
高橋 五郎	光市 光井五丁目	医師	光市医師会	
中村 六郎	光市 光井六丁目	医師	光市医師会	
山田 七郎	光市 光井七丁目	医師	光市医師会	
田村 八郎	光市 光井八丁目	医師	光市医師会	
佐々木 九郎	光市 光井九丁目	医師	光市医師会	
鈴木 十郎	光市 光井十丁目	医師	光市医師会	

氏名	住所	職業	所属	備考
山本 隆夫	光市 光井一丁目	医師	光市医師会	
田中 健一	光市 光井二丁目	医師	光市医師会	
佐藤 三郎	光市 光井三丁目	医師	光市医師会	
鈴木 一郎	光市 光井四丁目	医師	光市医師会	
高橋 五郎	光市 光井五丁目	医師	光市医師会	
中村 六郎	光市 光井六丁目	医師	光市医師会	
山田 七郎	光市 光井七丁目	医師	光市医師会	
田村 八郎	光市 光井八丁目	医師	光市医師会	
佐々木 九郎	光市 光井九丁目	医師	光市医師会	
鈴木 十郎	光市 光井十丁目	医師	光市医師会	

光市医師会報の発行は、光市医師会の機関紙として、光市医師会の活動の中心をなすものである。本報の発行は、光市医師会の発展と光市市民の健康増進に資するものである。本報の発行は、光市医師会の活動の中心をなすものである。本報の発行は、光市医師会の発展と光市市民の健康増進に資するものである。本報の発行は、光市医師会の活動の中心をなすものである。本報の発行は、光市医師会の発展と光市市民の健康増進に資するものである。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	福本寿雄
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社